

マイクロソフト「Teams」導入で チームの働き方を革新する

働き方改革の推進やデジタルトランスフォーメーション（DX）

への対応など、企業におけるICT活用の重要度はますます増している。九州最大規模の独立系システム開発会社、(株)シティアスコム（福岡市、藤本宏文社長）は、いち早くワークスタイル改革に有効なツールを自社で導入するとともに、その経験をもとに最大限の導入効果を提供してきた。今年4月には「デジタルイノベーションサービス本部」を新設し、顧客のDX適用支援を一層強化している。

その同社が現在推奨するのが、チームでの働き方を革新するマイクロソフト社の「Teams（チームス）」だ。このTeamsはひと言で言うとOffice 365で使えるチャットツールだが、その機能はWeb会議やファイル共

(株)シティアスコム

有、プロジェクト管理など豊富で、チーム作業のハブとなるツールだ。

情報共有の無駄を省き 生産性を大きく向上

例えば、チャット機能においては、メールのようにメンバーのアドレスをCCに指定することも、わざわざ文章の冒頭を定型文から始める必要は一切ない。メンバーの居場所に関係なく気軽に、質の高いコミュニケーションができる。また、Web会議機能においては音質や画質が想像以上にクリアなため、メンバーが同じ場所に集まることが難しい場合でも、まるで同じ会議室にいるかのようにつながって、情報を共有しながら意見を交わし、一緒に資料を編集することができ、いわば会議室要らずのツールなのだ。

ある企業ではTeams導入で、「質問への回答時間が10分以内に短縮」「会議時間が55%削減」「新顧客へのアポイントが40%増加」といった効果が出ているという。要するに無駄な会議や打ち合わせを省くことで、より生産性の高い業務に時間を割けるわけだ。

但し、シティアスコムが17年11月に導入した当初、利用率は50%に過ぎなかった。DXを推進し効果を発揮するには社内意識改革が不可欠であり、経営会議メンバーを含む全社横断的な推進プロジェクトを発足し、全社の課題として捉え対応する必要があったという。そうした経験を踏まえ、同社では自社導入のノウハウを基に導入からトレーニングまで、定着化に向けたさまざまな働き方改革支援のメニューを提供している。現在、マイクロソフト社はOffice 365の機能をTeamsに集約する傾向にあり、いわば最強のビジネスツールとの呼び声が高いこのTeamsを働き方改革やDX対応に使わない手はない。

Office 365 導入活用支援 Powered by CITY ASCOM

試行
導入

構築

運用
保守

定着化
支援

アセスメント要件定義

検証環境構築支援

運用改善

定着化

Office 365 を自社導入したシティアスコムだからできる実践的なソリューションの数々が、導入効果を最大限に引き出し、働き方改革を加速します。

CITY ASCOM
株式会社シティアスコム

〒814-8554 福岡市早良区百道浜2-2-22 AITビル
担当：デジタルトランスフォーメーション推進部

TEL：092-852-5167
メール：cloud@city.co.jp